

平成19年3月20日

第4回産学官連携利用推進委員会 議事概要

日時：平成19年3月1日(木) 14:30 ~ 16:00

場所：世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター3階 Room C
(東京都港区浜松町2-4-1)

出席者：(敬称略)

[委員]石原(委員長)、糸崎、今井、太田浩、太田俊、竹村、谷口、寺田、
中村、広瀬、米澤 (欠席)今井

[財団]吉良、大野、永田、渡辺、原、久保田

[配布資料]

資料1 産学官連携利用推進委員会 委員名簿

資料2 第3回産学官連携利用推進委員会 議事概要【要旨】
産学官連携利用推進委員会中間報告

資料3 産学官連携利用推進についての提言(案)

[参考資料]

参考 第1回産学官連携利用推進委員会 議事概要

第2回産学官連携利用推進委員会 議事概要

第3回産学官連携利用推進委員会 議事メモ

議事：

1. 開会

開会にあたり、財団吉良理事長より挨拶があり、平成18年12月に提出された産学官連携利用推進委員会中間報告の活用等について説明があった。

2. 議題

(1) 第3回産学官連携利用推進委員会議事概要の確認

第3回産学官連携利用推進委員会 議事概要【要旨】

石原委員長より、第3回産学官連携利用推進委員会議事概要【要旨】について説明があり、内容が確認された。

産学官連携利用推進委員会中間報告

石原委員長より、産学官連携利用推進委員会中間報告について説明があり、内容が確認された。

(2) 「産学官連携利用推進についての提言」(案)について

石原委員長より、「産学官連携利用推進についての提言」(案)について説明があり、続いて事務局より、提言内容について説明があった。

本件について、次の通り提言案を修正又は加筆することとされた。

・「4. 提言」において、委員会として最も重要視する項目である「(4)

イノベーション指向型の産学官連携プロジェクトの推進」を第1に掲げる。

- ・「4. 提言」の「(1) グループ利用方式の導入」において、「共通の成果」という表現を用いる。
- ・「5. 提言に当たって」において、世界最高レベルの SPring-8 の性能が十分に発揮された、産業界にとって有効な利用手法の開発について加筆する。
- ・産学官連携における「学」の役割を提言において明確にするよう加筆する。
- ・「提言の具体化に向けての参考意見」の「2.(2) 産業利用独自の利用課題」において、「国の科学技術政策に沿ったテーマ」という表現を用いる。

また、提言内容の検討を通じて、次の通り意見が出された。

- ・ SPring-8 は世界最高レベルを誇る放射光施設である。その性能が十分に発揮され、かつ産業界にとって有効な利用手法の開発が、産学官連携により積極的に展開されることを期待したい。
- ・新規専用ビームラインの提案においては、新しい工学系分野をはじめ、産学官連携による取り組みが出てきている。
- ・産業界にとって有益な利用手法等について、これまで定常的に利用してきた産業界のメンバーで検討してみてもどうか。
- ・産学官の学の位置づけを明確にし、学を活かした相談機構のような組織づくりについて検討してはどうか。
- ・産学官連携を基にした政策支援について検討してはどうか。
- ・ SPring-8 が産業に有効に利用されていることが、現状あまり知られていないと思われる。今後も啓発・普及活動が必要であり、活動を支援したい。
- ・産学官連携利用を SPring-8 で推進していくためには、産業界から優れた人材を確保することが重要である。
- ・今回の提言を踏まえた SPring-8 における産学官連携利用の推進について、今後もフォローしていく必要があると思われる。

(3) 今後の進め方など

渡辺より、本委員会からの提言及び議事概要について、SPring-8 ホームページに公開される旨説明があった。

また、財団吉良理事長より、委員会に対する謝辞及び産学官連携利用を含めた今後の取り組みについて説明があった。

石原委員長より、本委員会についての総括があり、今後の進め方に関して、本日出された意見を提言に反映し、後日各委員により内容を確認することとされた。

以上